

令和7年度
めざす学校像



森の里小学校
学校だより

「学ぶ喜びと活力あふれる森の里小学校」

森の風

令和7年12月5日 No.17 文責 菅沼真弓

めざす子どもの姿

あいさつ
いじめ×
うんどう大好き
えがおになる言葉
おれいの言葉
かいわとがくしゅう大事
きまりを守る

特集！ いじめへの取組 ①の②

学年や学級経営における先生方の取組

1 子どもに向けた合言葉「あいうえおかき」を徹底させる。

何度もお伝えしているように今年度の重点「あいうえおかき」という合言葉を、先生方が模範となり、子ども達に徹底させるようにして



います。**先生方もこの合言葉を意識**しなければいけないので、子どもから指摘されることも実はあるのです。「先生に挨拶したのに、返してくれなかった。」と子どもから話があり、担任の先生が打合せで他の先生方に呼びかをしてくれることもありました。



2 子ども達の理解を積極的にすすめる

担任が学級内の子ども達一人一人について、良く理解することは当たり前ですが、その子達に関わる職員も子ども理解をすすめることはとても重要です。そのため、**生活指導交流会**という会議を5月に開き、全員の教職員が児童の様子を交流しています。

また、子どもの課題が明らかになった場合に開催される校内支援委員会やいじめ対策委員会、不登校対策委員会で話し合った内容は、全教職員が共有できるようにしています。つまり、困難を抱えている子どもや保護者について、直接関わっていない職員もその状況を理解し、**全職員で温かく支える**ようにしています。

さらに、本校の先生方は、**子ども達の話題を放課後の職員室でよくお話し**しています。教科担任も多いですし、特別支援学級に在籍している子どもが、交流学級で勉強したり活動したりすることも多いので、自然に子ども達の様子を担任間で話すことが増え、放課後の職員室はにぎやかです。

3 「ほっと」を利用した子ども理解

北海道教育委員会では、「児童生徒理解」の充実を図るため、児童生徒のコミュニケーションスキルを測定する「**子ども理解支援ツール『ほっと』**」を、北海道医療大学と共同して開発しました。本校でも、この子ども理解支援ツールを利用して、子ども理解を深めるよう取り組んでいます。この『ほっと』に関する詳しい説明は、教職員用の資料になりますが、右の二次元コードからご覧いただければわかりやすいと思います。



子ども達の取組

1 児童会活動を中心にして

まず、児童会の取組としていじめ予防につながる大きな取組は、例年実施している**ピンクアイテムデー**です。森の里小学校では、年に2, 3回行われる恒例の取組は、多くの子ども達に浸透しており、なぜピンクのアイテムを着けるのか、ほとんどの子がその意図を理解し取組に参加しています。ですから、「いじめを許さない」と思う子は、昨年度の児童アンケートにおいて100%の結果になっていることにも表れています。



登校時、ピンクの腕輪を配っている
代表委員の子達



3, 4年生 だるまさんがころんだ
の様子

また、前の学校だよりでも児童会活動を紹介した**各委員会で取り組んでいる異学年交流**などを通して、仲間作りや絆作りをしてくれています。先日も、異学年で「だるまさんがころんだ」や「だいこんぬき」などグリーンタイムに行っていました。このような取組のお陰なのか、交通指導で登校の様子を見守っていると、異学年の子が仲良く連れ立って登校する姿がとても多いと思っています。児童会が掲げる「みんな仲良く」を目指す取組は、確実に良い姿として映っていると感じます。

さらに、児童会三役が中心となってエリアで話し合う**エリアファミリーサミット**の活動もその一つです。来週2回目になるサミットは、緑園中、開西小、大空学園と本校森の里の生徒会や児童会が集まって、いじめ防止に向けた各校の取組を交流し、エリアとして統一した活動を話し合ってきます。これは、帯広市として以前から行っているエリアの活動です。学校の代表として、様々な意見交流をし、また森の里小の活動につなげてくれることを期待しています。



昨年度のエリアファミリーサミットの様子

*次号では、いじめへの取組Ⅱとして、**いじめの認知について**を紹介します。



●今年度のスケートリンク造成について

毎年ご心配やご負担をかけているスケート授業ですが、今季もスケート授業を行う予定にしておりますし、降雪があればスケートリンクを造成する準備は整えております。低学年はこの12月、スケート靴を履く練習もいたします。昨年度のようにリンク造成ができず、スケート授業がない場合も考えられますが、学校の教育活動としては予定しておりますので、スケート靴の準備はその都度、よろしくお願いいたします。学年によっては、リンクが完成したらレンタル靴を用意するという対応も可能かと思っておりますので、それぞれのご家庭のご判断にお任せいたします。ご協力の程、よろしくお願いいたします。